

① 食品ロス削減・生ごみ資源化の推進

＜事例紹介 3＞

「食品廃棄のない社会の実現に向けて」

イオン株式会社

環境・社会貢献部 マネージャー 中山 大輔

食品廃棄のない社会の実現に向けて

2026年10月
イオン株式会社

Copyright (C) 2026 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. イオングループの概要

日本・中国・アセアンなど14カ国で展開

<グループ企業の一例>

連結 営業収益	約10兆,7,153億円
グループ 従業員数	約67.5万人
店舗数	20,257店舗
植樹本数	約1,288万本

2026年2月末時点



2. イオンの思い 基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。

イオンは、小売業が平和産業であり、人間産業であり、地域産業であると信じ、
その使命を果たす企業集団として永続するために、
お客さまを原点に絶えず革新し続けてゆきます。

平和は、戦争や災害からの復興にしても、平穏な生活の維持・増進にしても、能動的で意識的な関与なしにはもたらされません。こうした思いの原点には、岡田卓也名誉会長相談役の実体験があります。戦後、チラシを手にして店舗に並ばれたお客さまが「戦争が本当に終わったんだ」と涙された姿を見て、小売業の存在こそが平和の象徴であると実感したと言います。そこから、小売業が成り立つためには平和が大前提であり、小売業は平和の維持に貢献していかなければならないと決意したのです。



1946年頃の岡田屋



平和とは、戦争や暴力がないというだけに止まりません。心の安寧に加えて、戦争や災害さらにはさまざまな不幸から立ち上がり、乗り越える力をも含むものです。21世紀になっても戦争は止まず、大震災や異常気象などの自然災害が頻発しています。今こそ平和の価値があらためて問われています。平和はそのまま与えられるものではありません。平和は、わたしたちが能動的で意識的に関与することによってはじめて保たれるのです。

イオンは平和に反することは決して行いません。また、そうした行為や活動には与しません。イオンが目指すのは積極的な平和への貢献です。

人間に関しては、一人ひとりを信じ、尊重することで、その人の能力や思いが花開き、さらに人とつながることによって、より幸福な状態が生じます。

岡田名誉会長は、小売業を「人間くさい産業」と呼びました。それは「人の道」を重んじること、すなわち人間を尊重することです。個性、尊厳、自律性の尊重は言うまでもありません。それに加えて、人間が持つ可能性を信じ、仕事や学びを通じて成長し、よりよく人間になることを後押しすることでもあります。人間はひとりで成長することは困難です。「人とのつながり」のなかで、他者とともによりよく人間的になっていくのです。それは幸福の実現であるとともに、人の間にある規範を求めるものでもあります。小売業は人々の幸福と規範の産業なのです。



戦後の復興期に社員に就任した岡田卓也

Copyright (C) 2026 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

3

3. イオン「サステナビリティ基本方針(2011年制定)」

イオン サステナビリティ基本方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、
地域社会に貢献する」という基本理念のもと、
「持続可能な社会の実現」と「グループの成長」の両立を目指します。
取り組みにあたっては、「環境」「社会」の両側面で、
グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を、
多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。

(2011年制定、2018年9月改訂)

環境
Sustainable
Planet

健康・人
Healthy &
Empowered People

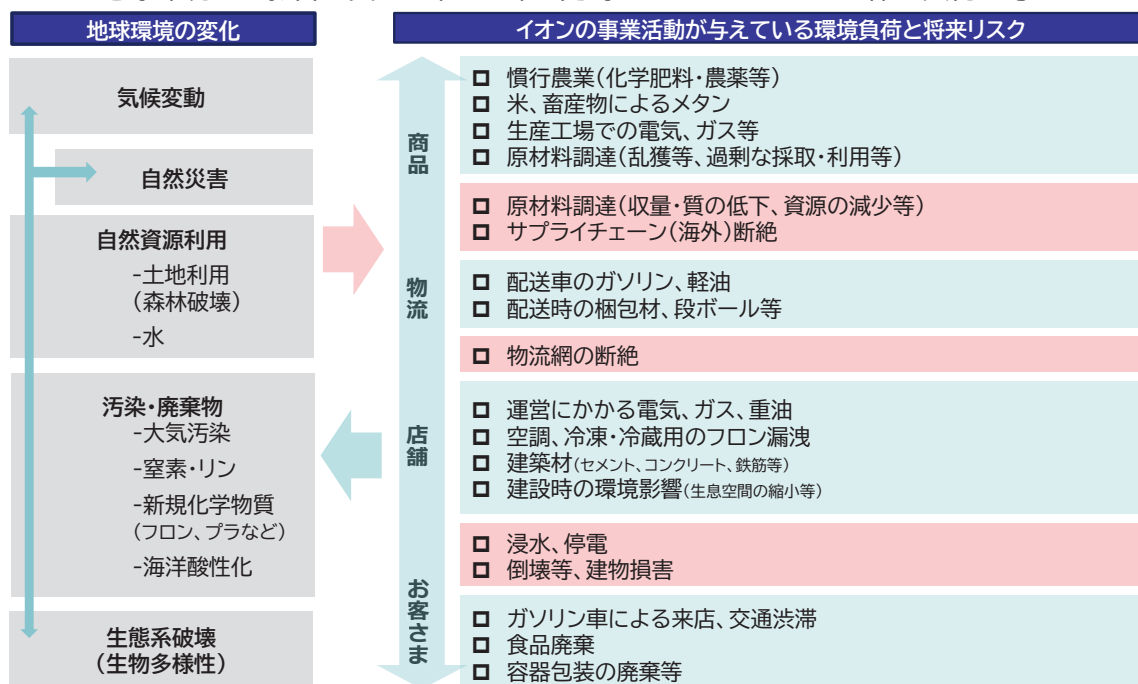
地域
Heartful
Community

Copyright (C) 2026 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

4. 環境問題とイオンの相関図

イオンは地球環境から影響を受ける(リスク)と同時に、バリューチェーン全体で負荷を与えている



Copyright (C) 2026 EON Co., Ltd. All Rights Reserved

5. イオンの環境活動



Copyright (C) 2026 EON Co., Ltd. All Rights Reserved

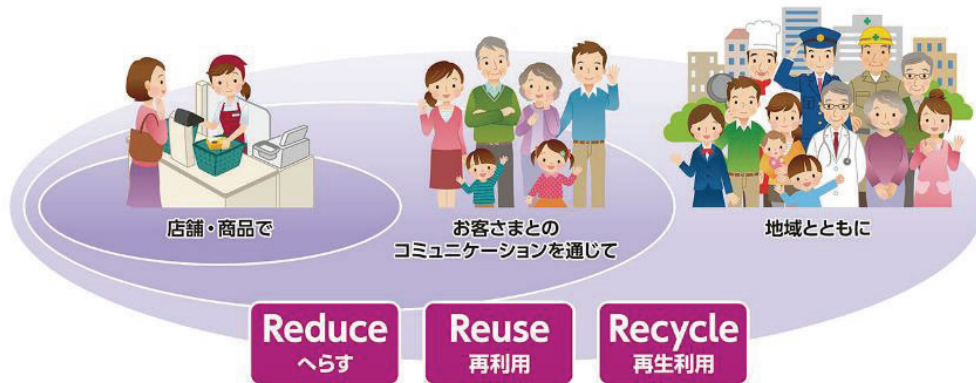
6. 循環型社会の実現

<基本姿勢>

イオンは1990年代から「買物袋持参運動」や「店頭資源回収」など、資源循環の促進に先駆けて取り組んできました。2017年に食品廃棄物削減目標を策定し、事業活動で発生する食品廃棄物削減に向けて取り組んでいます。また、2020年には、2030年までにプラスチックの使用量を2018年比で半減する目標を策定し、取り組んでいます。これらはいずれも3Rに基づき、お客さまやお取引先さまなどステークホルダーと連携し、資源循環型社会の実現を目指しています。

<目指す姿>

資源循環の仕組みにより廃棄物ゼロの実現



Copyright (C) 2026 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

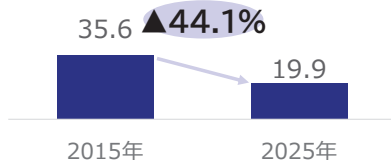
7

7. 食品廃棄物削減 進捗、重点施策

食品廃棄物の削減に向け、重点施策を中心に取り組みを進め、着実に削減をしています。

実績

食品廃棄物量の推移 (売上百万円当たりの重量kg)



食品リサイクルループ
全国13か所

重点施策

商品

- 規格外品の廃棄削減
- 商品の鮮度保持期限延長



店舗

- AIを活用した発注・売り切り
- 食品リサイクルループの拡大
 - 自社農場を起点に、クローズド・ループ構築

お客さま

- フードドライブの全国推進 (2,000店舗以上)
 - フードバンク団体への寄付スキーム確立
- お客さまへの発信強化 (賞味期限に関する啓発、行政連携 など)

Copyright (C) 2026 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

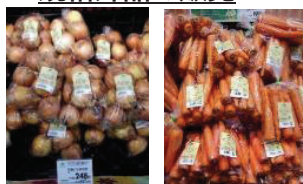
8

8. 販売における食品廃棄物の削減

商品・店舗においては、包材の変更や物流の最適化、規格外品の利活用を通じ、店舗の食品廃棄物の削減を推進しています。

生産段階

■ 規格外品の販売



■ アップサイクル



加工段階

■ 包装技術の活用



販売期間 : 最大**10日間**延長
廃棄売変率: 約**25%**改善
プラ使用量 : **100t/年**削減

販売段階

■ AIの活用



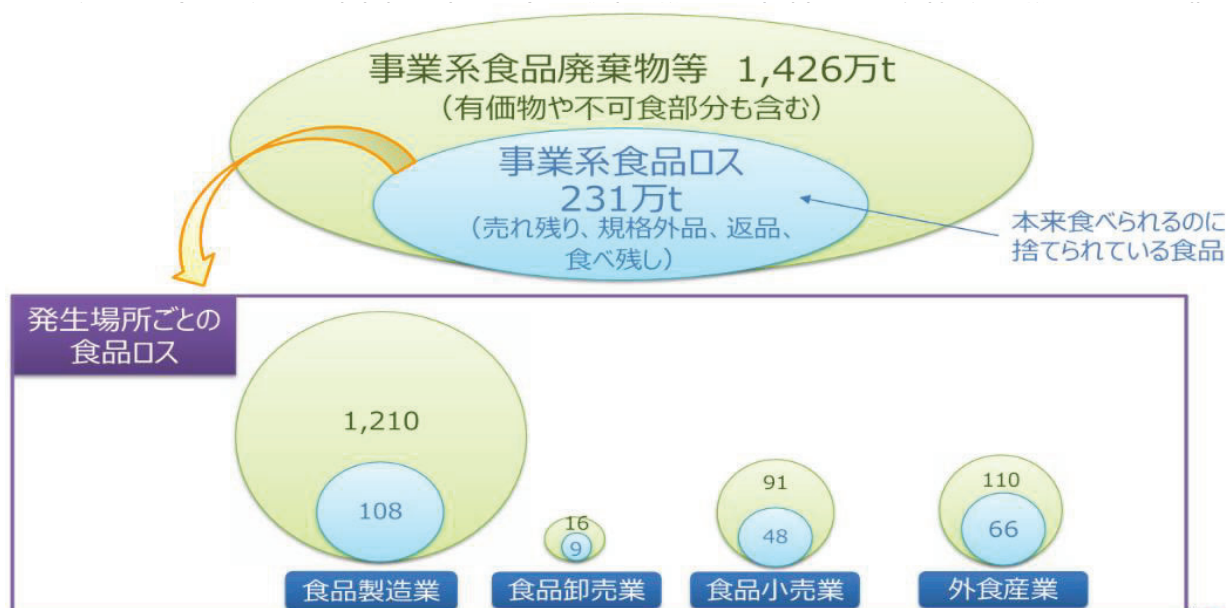
値引率・廃棄率の改善
適量製造
割引業務の作業軽減

Copyright (C) 2026 EON Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

9. 食品廃棄物削減にあたっての新たな課題認識

従来、削減を進めてきたが、店舗では不可食部の発生することから、食品廃棄物も資源ととらえ減らすとともにリサイクルの更なる推進が必要



出典：農水省 食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢（令和7年7月時点版）

Copyright (C) 2026 EON Co., Ltd. All Rights Reserved.

10

10. 食品廃棄物削減の目標



目指す姿:食品廃棄物の最大限の削減と100%利活用による、食品廃棄のない社会の実現

新目標 :2040年までに、食品廃棄物のうち焼却・埋立等の最終処分量を可能な限りゼロに近づける

重点施策:発生抑制の推進、食品リサイクル率の向上、地域循環型リサイクルループの拡大

実現に向けて、クリアすべき課題



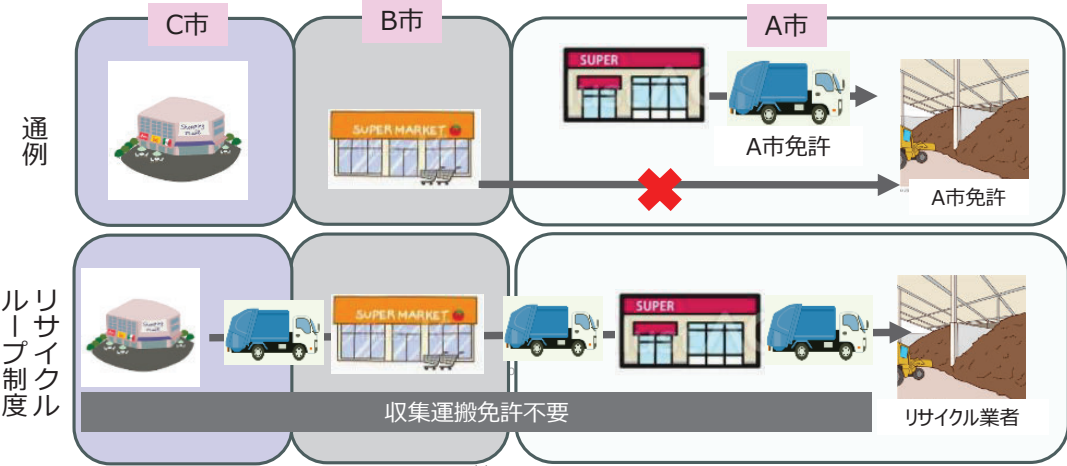
食品リサイクル率の現状
(グループ全体 2025年54.2%)

11. リサイクルループ構築



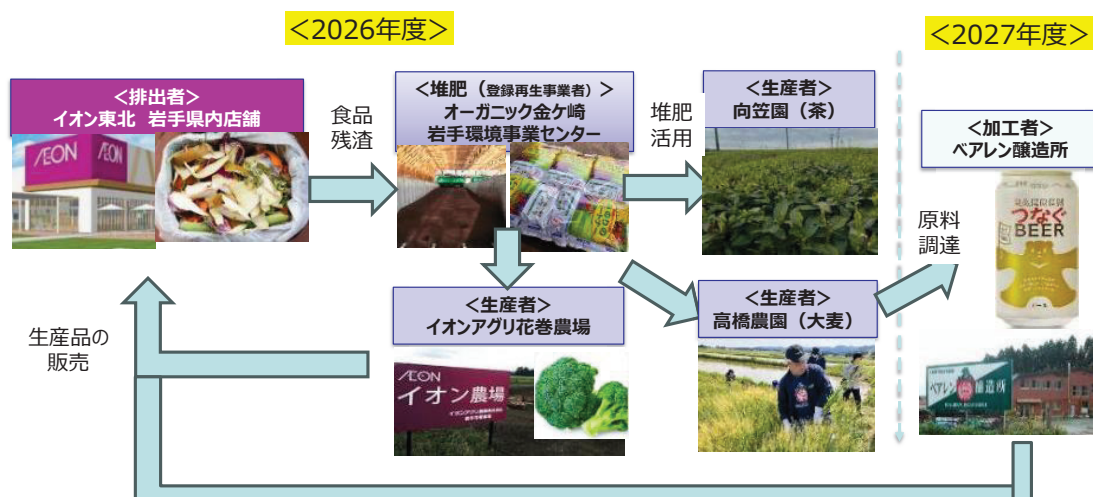
大きくは2つの要因が食品リサイクル率向上の障壁となっており、その障壁をグループの事業会社横断で食品リサイクルループを構築することが解決につながる。

要因	障壁	障壁となる理由
コスト要因	収集運搬・リサイクル費用の増大	店舗あたりの食品廃棄物が少ない リサイクル施設までの距離が遠い
地域要因	リサイクラー、収集運搬会社	地域にリサイクラーがない 一般廃棄物なので、越境（※）できない



12. リサイクルループ構築の実証実験

イオン東北と連携し、環境省から補助金を受け、リサイクルループ構築の実証実験を実施しています。スーパーの食品廃棄物は塩分濃度が高い特徴があることを受け、生産に適した作物を選定、ブロッコリーや麦、茶の試験生産を行っています。



Copyright (C) 2026 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

13. 地域と連携した食品アップサイクル

取組内容	廃棄あるいはダウンサイクルされる各エリアの特産品の残渣を有効活用（アップサイクル）したクラフトビールとジュース、あるいは他食品の商品化と販売を行う。
目的	地域の未利用資源を活用したアップサイクル食品の新たな市場創出を行い、地域の課題解決を目的とする。 ①地域活性化 ②未利用資源の有効活用
協業先	・三菱UFJ銀行（本社と支店）とイオン本社（環境・社会貢献部） ・未利用資源を抱える農家 ・商品開発と製造を行う企業



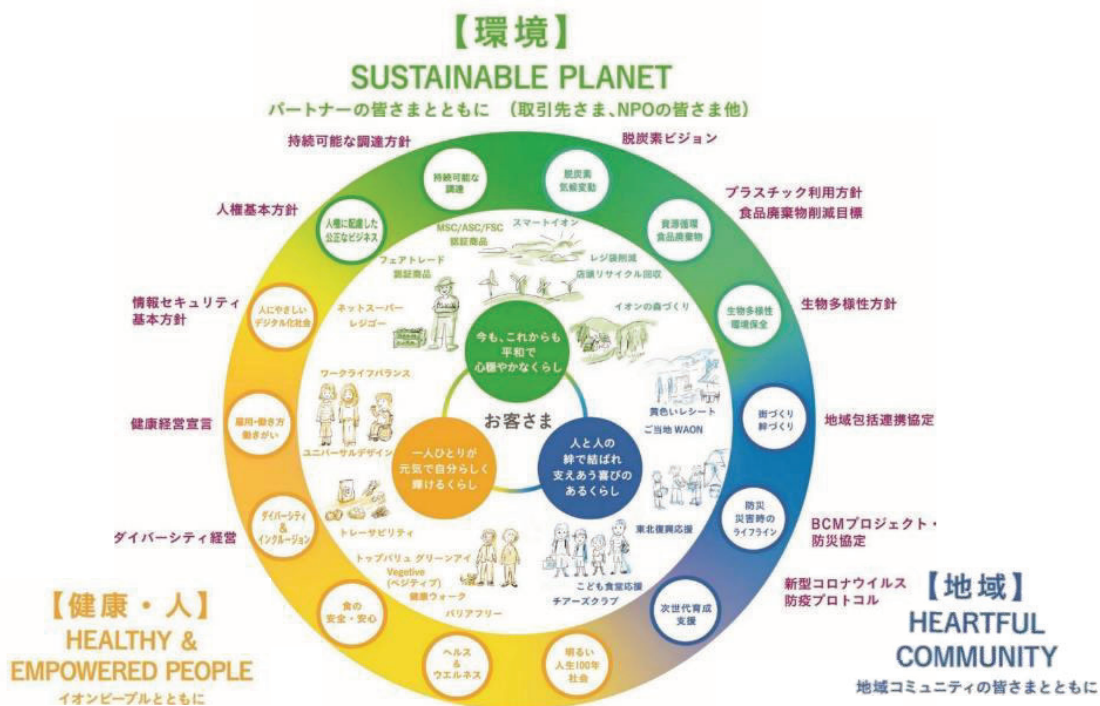
Copyright (C) 2026 AEON Co., Ltd. All Rights Reserved.

14

14. 大分県産かぼすのクラフトエール

発売日	2026年10月12日
商品情報	商品名:大分県産かぼすクラフトエール 参考小売価格:本体398円 内容量・容器:350ml・缶 果汁5%、果皮2% アルコール分 5% 
参画企業	イオン九州:商品企画・販売、商品 PR ハマノ果香園:原材料 BTF:商品企画・販売、商品 PR 三菱 UFJ 銀行:本取り組みの全体企画・取りまとめ
販売店	大分県内のAEON、マックスバリュ、トキハインダストリー42店舗 など

おわりに お客さまの暮らしを支える





Copyright (C) 2026 EON Co., Ltd. All Rights Reserved.